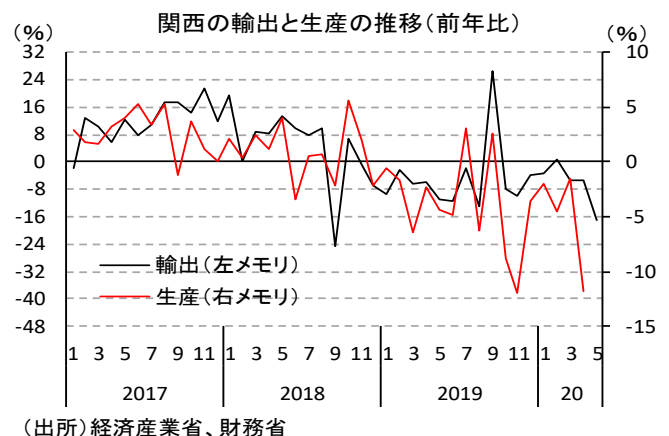
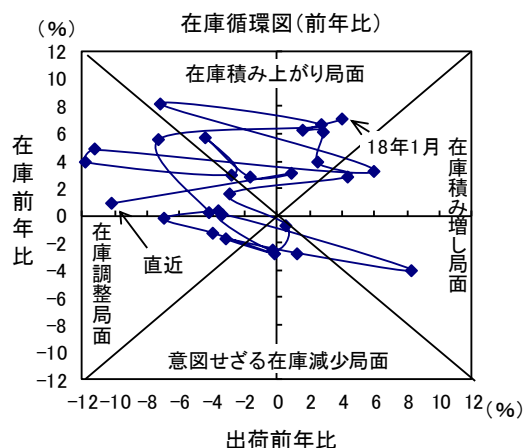
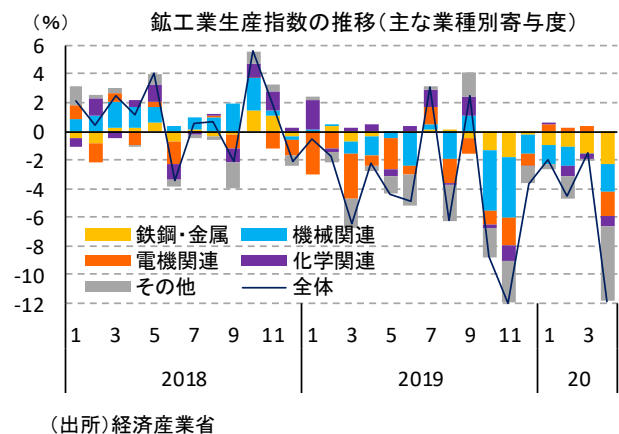
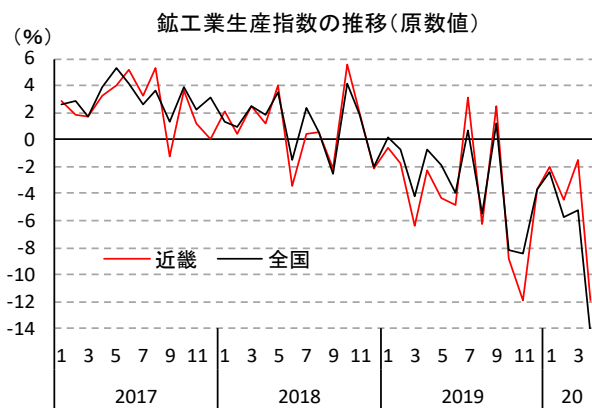


関西の景気トピックス【鉱工業指数（20年04月）】

- 20年4月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は7か月連続の減少となった。業種別の推移では、前月と同様に機械関連や鉄鋼関連の減少が目立っている。設備投資の停滞に加え、自動車関連の生産減などに連動した動きとみられる。なお、「その他」の業種も落ち込みが目立つが、主に自動車関連の減少によるものである。
- 在庫循環の動きをみると、前月の在庫積み上がり局面から、積み上がった在庫を減らすために、意図的に減産を行う「在庫調整局面」に転じている。
- 生産と輸出の関係を見ると、両者には一定の連動性がみられる。新型コロナの影響が続く中、今後の推移は5Gやスマホ、PCを中心とした電機関連の世界的な需要に加え、自動車関連の回復の動きに左右されるとみられる。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。

本件照会先: 大阪本社 荒木秀之
 TEL:070-6633-0038 mail:hd-araki@rri.co.jp